



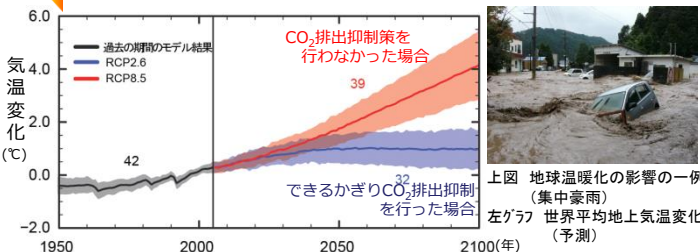
産・官・学の協働・連携による環境産業観光 ～未来へつなぐ愛知テーマパークづくり～

グループ名：気候変動

メンバー：井伊 敏、谷 早央理、濱崎 志紀、三輪 のり子

チューター：飯岡 大輔、吉田 友紀子、雪田 和人

現状の把握



止まらない地球温暖化…世界中で様々な問題が発生

ゲリラ豪雨増加、生物生息域の北上、食料収穫・漁獲量の変化、感染症の拡大など

エネルギー消費量の増加による二酸化炭素濃度の上昇が原因

✓ 特に業務・家庭におけるエネルギー消費が増大

→ 個人が環境に配慮した行動を実践することが重要

2030年に向けての提言の概要

地球温暖化や、それによる環境への影響の悪循環を止めるためにも…

- ◆ 環境に配慮した行動が自然になされ、
- ◆ 環境と経済が高い水準で保たれた魅力のある地域であり、
- ◆ 全国、世界へ魅力を発信し、多くの人や企業をこの地域へと引きつける

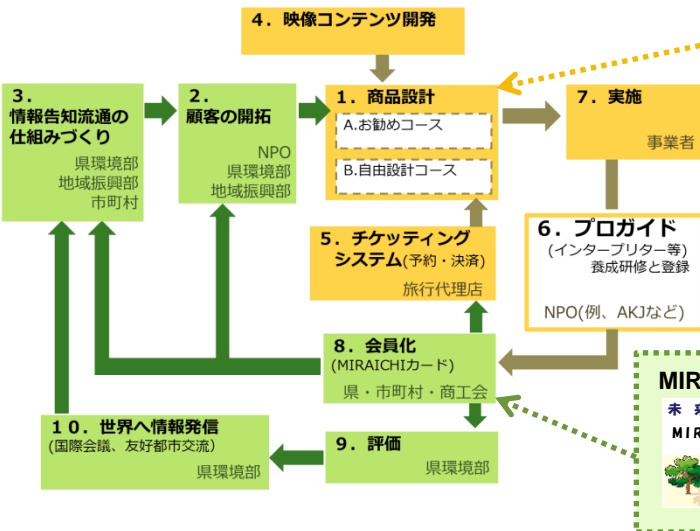
「環境首都あいち」を造る、人財育成のしくみづくり

環境産業観光
「愛知テーマパーク」
で適応策を実践



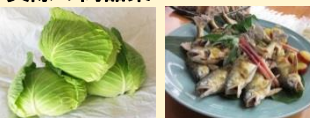
提案の内容

行政(県・市町村・商工会)と民間(地元産業事業者・NPO)が協同した産業観光の仕組み



提案実現のための具体的な取り組み (アクションプラン)と実現可能性

実際の商品案



環境プロガイドと共に愛知の特産品の生産過程を実際に体験しながら、気候変動がこれらの特産品の生産に与える環境影響を学習できるプログラム。
(例 キャベツ、養殖鮎、石工品など)

MIRAICHIカード



豊田市のとよたエコポイント制度を参考に、ツアーに参加した際に得られるポイントに環境配慮商品と交換できる制度を提案。会員制度により顧客の定着を図る。

環境プロガイドの育成

環境・農山漁村分野 NPO (500を超えるNPO法人)

環境スキルの高いプロガイド育成

観光ボランティア (H19以降全国1位 :ガイド数2712人、組織数62)

波及効果

あいち生物多様性戦略における行動目標を達成

- A.生態系ネットワークの形成
- B.経済と生物多様性の調和
- C.野生生物の保護と管理
- D.生物多様性の価値の共有
- E.多様な主体の参加と協働

「愛知テーマパーク」を海外旅行の目的地に

「環境首都あいち」を世界に発信

愛知万博、COP10など世界規模の環境イベントの開催経験を活かし、産業と環境の両立を世界にアピールしよう!!

